

## 「あう」における戦術とは何のためのものか？

「あう」というチームは、強くなって常勝軍団を目指していこうとするチームではありません。「チームのメンバーみんなでプレーを楽しむこと」を目標として目指していくチームです。

攻撃においては、ゴールを奪うという目標を持ち、みんなでゴールへ迫るそのプレーこそが、チームで楽しむことができるかどうかの過程となります。個人の技術だけで局面を打開してゴールを奪うプレーは確かにすばらしいものです。しかし、メンバー同士が一つ一つのプレーに意思を通い合わせ、チーム一丸となってゴールに迫り、結果ゴールを奪うことができればその喜びはよりいっそう大きなものとなるでしょう。また、守備においても、チームで協力し合い相手チームの強烈な攻撃からゴールを守ることができれば、それもまた守備の醍醐味というものであり、楽しみでもありましょう。

みんなでプレーを楽しむためには、基本的な決まりごと、約束ごととなる戦術が必要になってきます。ここに記す戦術は「あう」のメンバーなら分かっているほしい、知っているほしいというものです。ですから、この戦術を必ず守りながらプレーしなければいけないということではありません。根本的なものがズレていると、プレーにおいてそれぞれの主張が正しいものであっても、かみ合わないでうまくいかないことがあります。それぞれプレーに関する考えや要求はいろいろあると思いますが、チームの基本的な戦術を理解したうえで、話し合いが行われればスムーズにいくものと思われま

また、繰り返しますが、この戦術は必ずしも守らなければいけないものではありません。体力的にきつかったり、心身的につらい時などもあります。無理はしないで、基本的には自由に楽しくプレーすることが、結果良いプレーにつながるものですから。

# 1、「あう」の基本フォーメーションは平行四辺形

	攻撃のときの主な役割	守備のときの主な役割
	1 ・ポストプレー・シュートの意識 ・スペースを作り、利用する動き ・ボールキープ・果敢に勝負	・相手の攻撃を遅れさせる ・ワンサイドカットで相手の攻撃を限定させる
	2 ・味方の動きを見て、スペースへ動く ・1 3 4とのコンビネーション	・相手の攻撃を遅れさせる ・パスカットを狙えるポジションをとる
	3 ・簡単にボールをさばく ・攻守に素早いサポート	・攻撃の意識・パスカットと相手スペースをつぶすポジショニング
G	4 ・確実なサポートと守備の意識 ・攻撃参加(チャンスの時)の見極め	・相手ピヴォを自由にしない ・セーフティーなプレー・味方への指示

フォーメーション

選手が最初に配置されたポジションは固定されたものではない。状況に応じて、ポジションを前後左右入れ代わらなければ対応できない場面がある。試合中は自分はどこにいて、何をしなければいけないのかを常に考えながらプレーしなければならない。そのためには、ボールばかり見ずに、敵と味方がどこにいるのか周囲を見て状況を把握しておく必要がある。次のプレーのイメージを常に持つことが大事である

## 2、「あう」のチーム戦術の基本

### 【パス】を主体にゲームを組み立てる

・人がドリブルして走るより、パスでボールを走らせた方が早い攻撃ができる  
パスを回すことで攻撃にリズムが生まれ、4人が機能し、チームが活性する



ドリブルを意識するとき

- ・パスコースがないとき  
(横、斜め後ろ方向などにドリブルすると、相手の守備組織が崩れてパスコースが見える場合がある)
  - ・数的有利(速攻)でドリブルが有効なとき
  - ・相手陣内(ゴール前など)で最後の崩しのとき
- ドリブル突破があってこそパス攻撃も生きるのだから、チーム戦術に沿ったドリブルを心がけること

### 【サポート】に早くつく

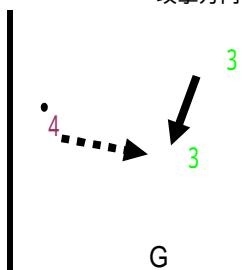
サポートとは、ボールを持っている味方選手からパスを受けることができるポジションに入ってあげること

### 【声】を出して、チーム内でのコミュニケーションをはかる

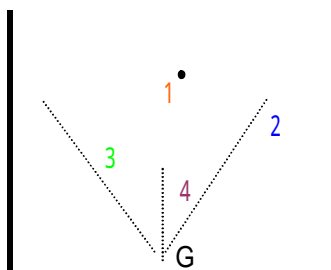
・声をかけあうことでプレーがはっきりし、次のプレーのタイミングをつかむことができる  
味方のプレーを助けるためにも、声を出してアクションを起こすことは大事である

### その他

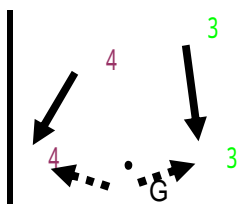
攻撃方向



**サポートの原則**  
4がボールを持っていて前線にパスコースがなく、敵のプレッシャーが強いときは、3はサポートの位置に入ること  
(4からパスがもらえる位置まで下がる)



**守備ポジショニングの原則**  
1、マーク相手と自陣ゴールの延長線に入ること  
2、ボールとマーク相手を同時に見ることが出来るポジションをとること



**ゴールクリアランスからのリスタートの原則**  
4、もしくは3が敵のプレッシャーが少ない位置までひらいて下がり、Gからボールをもらう

- ボール
- 敵
- ボールの動き
- 人の動き